

第1節 行政系施設

<行政系施設の延床面積の削減目標>

分類	現在の面積 (㎡)	今後の面積 (㎡)	増減面積 (㎡)	増減率 (%)
市庁舎	12,469.1	18,000.0	5,530.9	44.4
消防施設	5,570.3	8,986.3	3,415.9	61.3
その他行政系施設	957.5	957.5	0.0	0.0
合計	18,996.9	27,943.7	8,946.8	47.1

現在、借上げ施設を使用している庁舎の新設により、行政系施設全体としても面積増となる見込みです。

1-1. 市庁舎

(1) 施設概要

- 「旧本庁舎」は、耐震性能不足であることが明らかになり、平成27(2015)年9月から駅前庁舎及び朝日庁舎の2か所で民間の施設を借上げ、行政サービスを提供しています。なお閉庁中の「旧本庁舎」は、平成28(2016)年度から解体事業を進めています。
- 本市は市域が広いことから、市民の身近な場所で窓口サービスを提供できるよう、各地域の公民館に複合する形(木更津駅前連絡所除く)で、市内10カ所に出張所及び連絡所を設置し、市民利用の利便性向上を図っています。
- 「出張所・連絡所」では、住民票、印鑑証明、戸籍謄本・抄本などの発行を行っています。なお、富来田出張所ではこれらの発行に加え、住所の変更、戸籍の届出の受け付けのほか、税証明の発行を行っています。

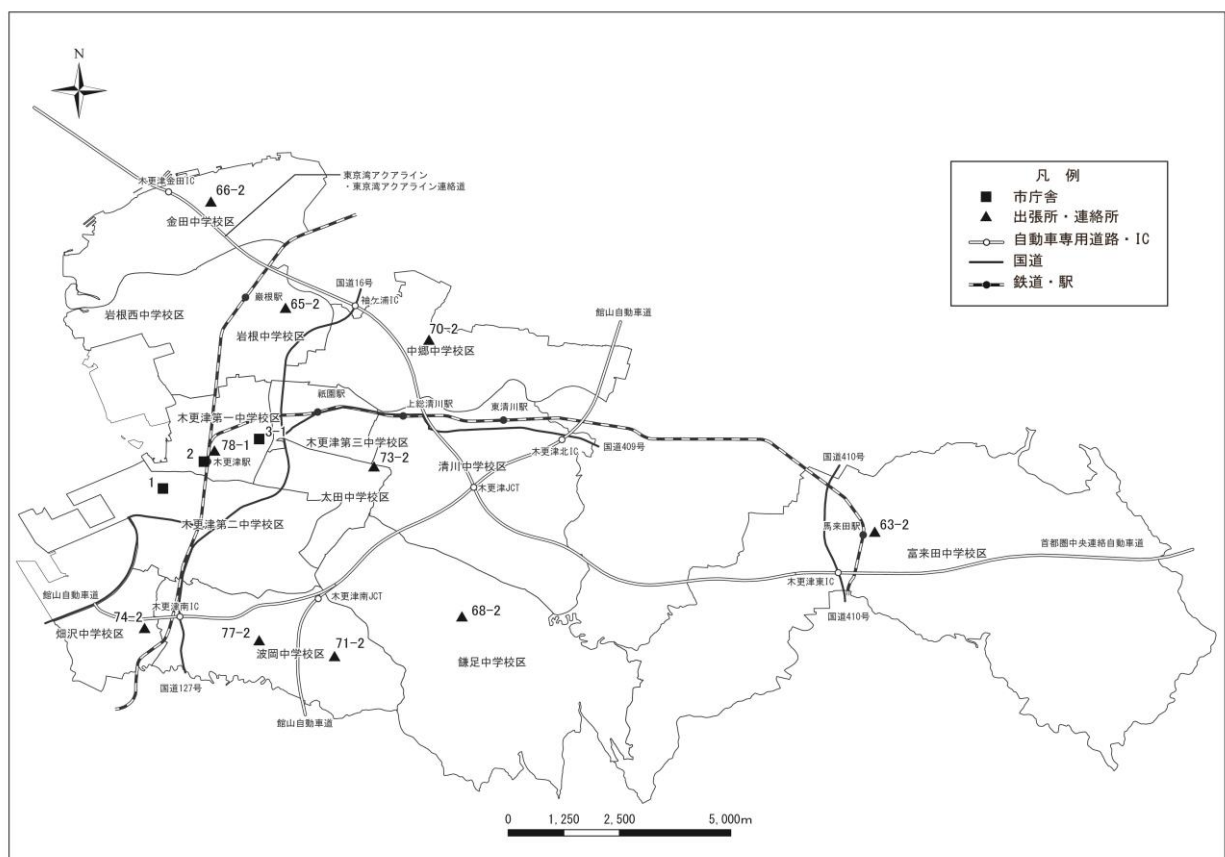
図表2-1 市庁舎の一覧

施設 No.	施設名	所在	避難場所 指定	延床面積(㎡)		竣工 年度	築年数 (年)	構造	耐震改修	備考
					施設分					
1	旧本庁舎	潮見1-1	指定なし	12,172.6	—	1972	44	RC造	必要(予定なし)	
2	駅前庁舎	富士見1-2-1	指定なし	3,549.2	—	—	—	—	—	借上
3-1	朝日庁舎	朝日3-10-19	指定なし	7,292.0	—	—	—	—	—	借上
63-2	富来田出張所	真里谷110	避難所	2,268.3	57.0	2001	15	RC造	不要	富来田公民館と複合
65-2	岩根連絡所	高柳3-2-1	避難所	564.1	21.1	1975	41	RC造	診断予定	岩根公民館と複合
66-2	金田出張所	中島1985	避難所	534.7	8.6	1976	40	RC造	予定なし	金田公民館と複合
68-2	鎌足出張所	矢那899-1	避難所	514.2	7.6	1979	37	RC造	診断予定	鎌足公民館と複合
70-2	中郷出張所	井尻789	避難所	563.7	14.6	1980	36	RC造	診断予定	中郷公民館と複合
71-2	八幡台連絡所	八幡台4-2-1	避難所	635.2	25.0	1980	36	S造	診断予定	八幡台公民館と複合

施設 No.	施設名	所在	避難場所 指定	延床面積 (㎡)		竣工 年度	築年数 (年)	構造	耐震改修	備考
					施設分					
73-2	清見台連絡所	清見台南5-1-29	避難所	2,151.4	34.1	1982	34	RC造	不要	清見台公民館と複合
74-2	畑沢連絡所	畑沢1053-12	避難所	658.5	34.0	1983	33	RC造	不要	畑沢公民館と複合
77-2	波岡連絡所	大久保5-7-1	避難所	773.1	46.7	1992	24	RC造	不要	波岡公民館と複合
78-1	木更津駅前連絡所	富士見1-1-1	指定なし	255.8	48.0	2003	13	S造	不要	バス発券所、ちば南部地域若者サポートステーション、たちより館公衆便所と複合

※表中の「施設分」は、本項の用途分類で使用する専有面積分のみを掲載しています。

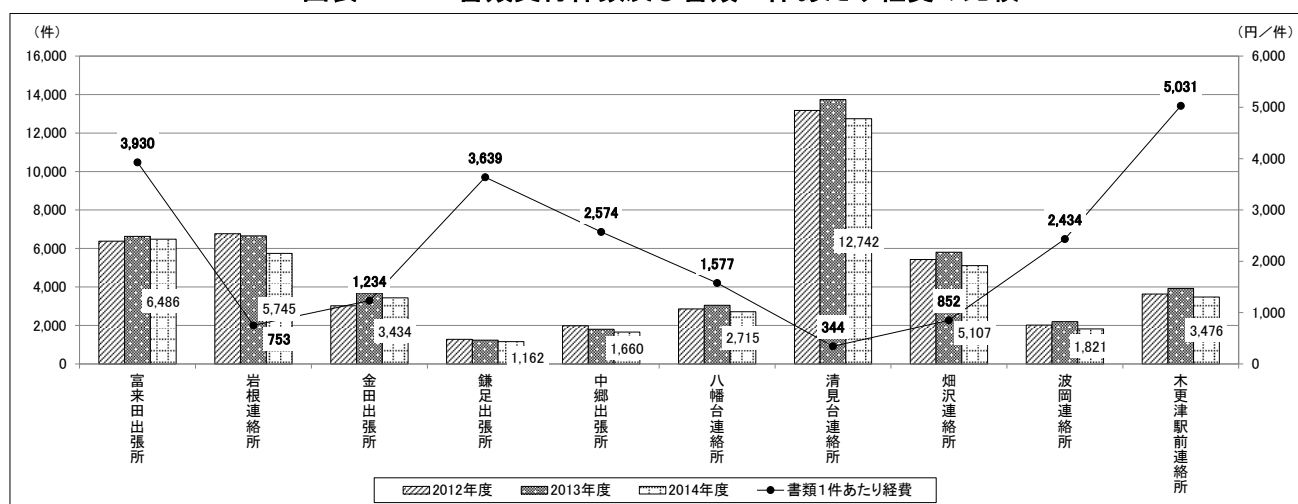
図表 2-2 施設の配置状況



(2) 現状及び課題

- 出張所・連絡所の書類受付件数及び書類1件あたり経費は、**図表2-3**のとおりです。
- 富来田出張所及び木更津駅前連絡所は、選任の職員を配置しており、他の出張所・連絡所に比べて、多額の行政経費がかかっていることから、運営のあり方を見直すことが必要となっています。

図表2-3 書類受付件数及び書類1件あたり経費の比較



※各出張所・連絡所（富来田、木更津駅前除く）は、光熱水費の他、職員の人件費として一律で0.5人分を経費として計上し、合計金額を発行件数で除して算出しています。

(3) 今後の方向性

- 各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、**図表2-4**のとおり設定します。
- 新庁舎の建設に向けては、計画的な基金の積立を継続します。また、PPPやPFI等の民間事業者が持つノウハウ、資金等を活用し、行政サービスの質の向上と経費の削減に取組みます。
- 今後、市民の利便性の向上や出張所・連絡所の行政経費の圧縮を図ることなどを目的に、住民票や税証明などの発行は、自宅や職場等の近くのコンビニエンスストアで取得できるようマイナンバーカードの普及促進に努めます。
 - ※1 マイナンバーカードを取得すると、市役所（朝日庁舎）や出張所・連絡所に行かなくても、全国のコンビニエンスストア（約5万店舗）で各種証明書（住民票、印鑑証明、戸籍謄本・抄本など）をいつでも（毎日）取得可能（画面の案内に従って操作するだけで申請書不要）です。
 - ※2 コンビニエンスストアは、夜間、土曜、休日などで市役所が閉まっている時でも利用可能です。
- 公民館に複合して設置している出張所・連絡所は、利用状況に応じて中期的には廃止します。
- 富来田出張所において、現在取扱っている住所の変更、戸籍関係の届出の受け付けや税証明の発行業務は、中期的には上記と同様に廃止します。
- 木更津駅前連絡所は、利用状況に応じて短期で廃止します。

図表 2-4 再配置実行プラン

施設 No.	施設名	施設面積 (㎡)	短期(2017～2026)		中期(2027～2036)		長期(2037～2046)	
			基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)
1	旧本庁舎	12,172.6	■旧本庁舎解体 (△12,172.6㎡) ■新庁舎建設 (18,000㎡)	5,827.4				
2	駅前庁舎	借上						
3-1	朝日庁舎	借上						
63-2	富来田出張所	57.0			■戸籍関係届け、 転出転入届け、税 証明発行業務は新 庁舎に統合した上 で廃止	▲ 57.0		
65-2	岩根連絡所	21.1			■廃止	▲ 21.1		
66-2	金田出張所	8.6	■金田出張所は (仮称)金田地域交 流センターに機能 移転し、当面は運 営	▲ 8.6	■機能廃止			
68-2	鎌足出張所	7.6			■廃止	▲ 7.6		
70-2	中郷出張所	14.6			■廃止	▲ 14.6		
71-2	八幡台連絡所	25.0			■廃止	▲ 25.0		
73-2	清見台連絡所	34.1			■廃止	▲ 34.1		
74-2	畑沢連絡所	34.0			■廃止	▲ 34.0		
77-2	波岡連絡所	46.7			■廃止	▲ 46.7		
78-1	木更津駅前連絡所	48.0	■廃止	▲ 48.0				
計		12,469.1	短期(10年)	5,770.8	中期(20年)	▲ 240.0	長期(30年)	0.0

1-2. 消防施設

(1) 施設概要

- 消防施設としては、中心的役割を担う「消防本部・消防署」の他、「分署及び出張所」を市内6か所に設置しています。また、市内36か所に「消防団詰所」を設置し、地域における消防防災のリーダーである消防団の運営により、市民の暮らしの安心と安全確保を図っています。
- 本市の消防施設機能の中心的役割を果たしている消防本部・消防署は、築後44年を経過し、老朽化や建物の狭あい化などの多数の諸問題を抱えている状況にあることから、現在、平成31(2019)年度の供用開始に向け、建替え事業を進めています。

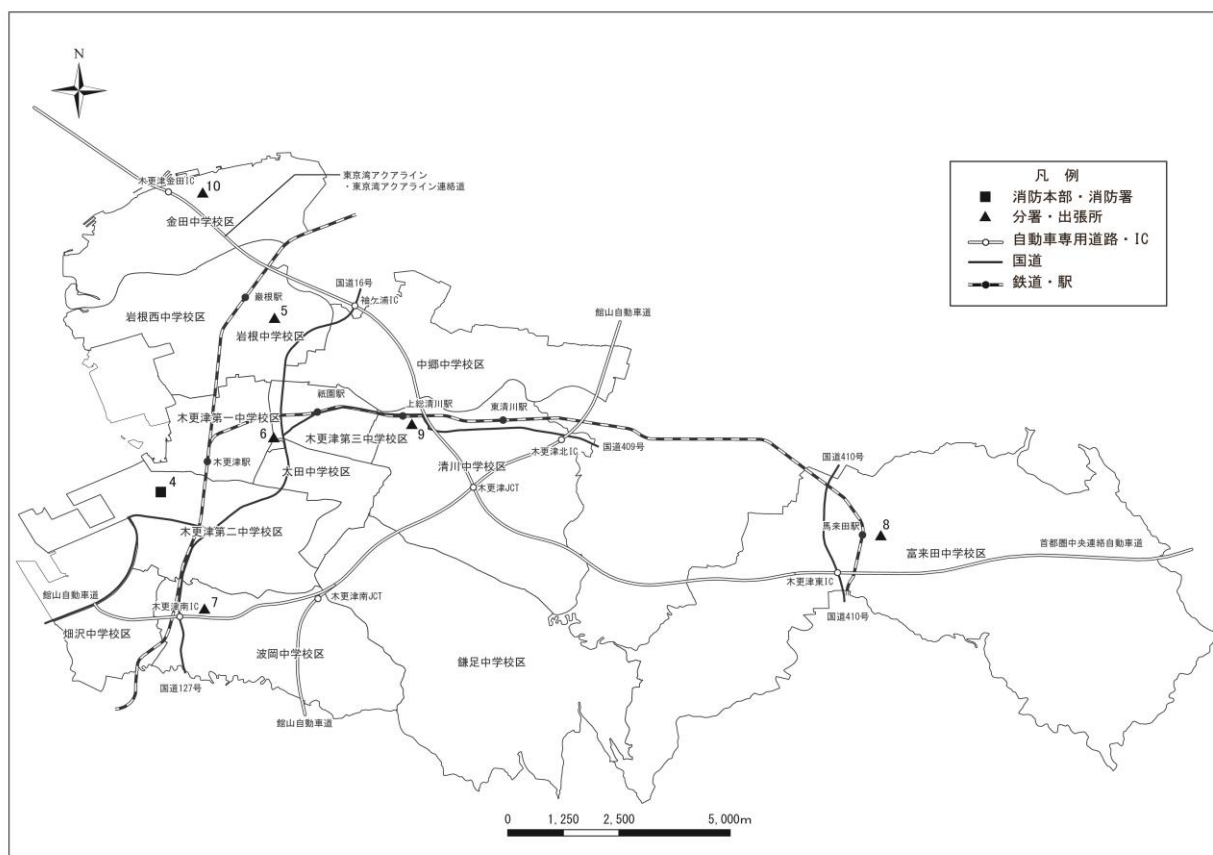
図表 2-5 消防施設の一覧

施設 No.	施設名	所在	避難場所 指定	延床面積 (㎡)		竣工 年度	築年数 (年)	構造	耐震改修	備考
					施設分					
4	消防本部・消防署	潮見2-8	指定なし	1,359.7	—	1972	44	RC造	実施済	
5	高柳出張所	本郷2-4-31	指定なし	204.7	—	1973	43	S造	診断予定	
6	長須賀分署	朝日3-4-18	指定なし	187.9	—	1982	34	S造	不要	
7	波岡分署	下烏田813-1ほか	指定なし	234.2	—	1981	35	S造	不要	
8	富来田分署	真里谷156	指定なし	708.5	—	1960	56	W造	診断予定	
9	清川出張所	中尾1915	指定なし	339.0	—	1985	31	RC造	不要	
10	金田分署	金田東1-18-1ほか	指定なし	512.6	—	1996	20	RC造	不要	
123	第1分団第1部	中央3-5-21	指定なし	84.5	—	2000	16	W造	不要	
124	第1分団第2部	請西2-1-24	指定なし	68.1	—	2002	14	W造	不要	
125	第2分団第1部	桜井845-5	指定なし	68.1	—	2002	14	W造	不要	
126	第2分団第2部	小浜279-5	指定なし	68.1	—	2011	5	W造	不要	
127	第2分団第3部	畑沢1-12-8	指定なし	66.2	—	2001	15	W造	不要	
128	第2分団第4部	下烏田796-1	指定なし	62.9	—	1993	23	W造	不要	
129	第2分団第5部	上烏田175-2	指定なし	66.2	—	1999	17	W造	不要	
130	第3分団第2部	菅生365-2	指定なし	68.1	—	2003	13	W造	不要	
131	第3分団第3部	ほたる野1-23-4	指定なし	68.1	—	2004	12	W造	不要	
132	第3分団第4部	犬成434-5	指定なし	66.2	—	1996	20	W造	不要	

※表中の「施設分」は、本項の用途分類で使用する専有面積分のみを掲載しています。

施設 No.	施設名	所在	避難場所 指定	延床面積 (㎡)		竣工 年度	築年数 (年)	構造	耐震改修	備考
					施設分					
133	第4分団第1部	中里2-5-26	指定なし	68.1	—	2006	10	W造	不要	
134-1	第4分団第2部	江川528	指定なし	69.4	34.7	1970	46	S造	診断予定	集会場と複合
135-1	第4分団第3部	久津間1139-1ほか	指定なし	60.4	30.2	1990	26	S造	不要	集会場と複合
136	第4分団第4部	万石184-1	指定なし	68.1	—	2007	9	W造	不要	
137	第4分団第5部	高柳2-63-2	指定なし	44.7	—	1991	25	S造	不要	
138	第4分団第6部	高柳1492	指定なし	44.7	—	1992	24	S造	不要	
139	第5分団第1部	矢那2315-1	指定なし	49.6	—	1981	35	S造	不要	
140	第5分団第2部	矢那3934-4	指定なし	41.3	—	1980	36	S造	診断予定	
141	第5分団第3部	矢那1461-1ほか	指定なし	44.9	—	1982	34	W造	不要	
142	第6分団第1部	中島1983-1ほか	指定なし	51.8	—	1981	35	S造	不要	
143	第6分団第2部	中島3992-2	指定なし	47.9	—	1993	23	S造	不要	
144	第6分団第3部	畔戸196	指定なし	47.9	—	1978	38	S造	診断予定	
145-1	第6分団第4部	瓜倉636	指定なし	187.6	36.4	1988	28	W造	不要	集会場と複合
146	第6分団第5部	牛込524-1	指定なし	59.6	—	1994	22	S造	不要	
147-1	第6分団第6部	中野45-3	指定なし	65.6	30.6	1971	45	S造	診断予定	集会場と複合
148	第6分団第7部	瓜倉1485-3	指定なし	48.8	—	1976	40	その他	診断予定	
149	第7分団第1部	有吉1774-1	指定なし	68.1	—	2002	14	W造	不要	
150	第7分団第2部	十日市場318-3	指定なし	65.7	—	1998	18	W造	不要	
151	第7分団第3部	井尻797	指定なし	66.1	—	1994	22	W造	不要	
152	第7分団第4部	牛袋804	指定なし	68.1	—	2005	11	W造	不要	
153	第8分団第1部	真里372-4	指定なし	68.1	—	2009	7	W造	不要	
154	第8分団第3部	茅野804-1	指定なし	56.2	—	1992	24	W造	不要	
155	第8分団第4部	真里谷577	指定なし	46.3	—	1985	31	S造	不要	
156	第8分団第5部	真里谷4023-1	指定なし	41.3	—	1979	37	S造	診断予定	
157	第8分団第6部	下郡1527-3	指定なし	68.1	—	2003	13	S造	不要	
158	第8分団第7部	下郡428-1	指定なし	39.7	—	1975	41	S造	診断予定	

図表 2-6 施設の配置状況



(2) 現状及び課題

- 消防施設は、築後30年以上を経過している建物が総延床面積の約6割を占めており、今後老朽化対策等の適切な対応が必要な状況にあります。
- 近年、複雑多用化する災害・事故への対応や、平時の火災予防・防災に関する啓発活動など、市民から求められる役割も多岐に渡るとともに、高度情報化、男女雇用機会均等法に即した女性消防士の登用など、消防本部庁舎として、時代の変化への対応も必要になっています。
- 現状の消防情勢を踏まえ、消防に求められる機能を充実させることにより、消防力の更なる充実と市民サービスの向上を図っていくことが求められています。
- 大部分の消防団詰所は、老朽化が著しくなっています。

(3) 今後の方向性

- 各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、**図表2-7**のとおり設定します。
- 行財政運営の効率化と基盤の強化、住民サービスの向上を図るため、国が示す管轄人口おおむね30万人以上の規模を目標とした消防の広域化に向けて検討を進めます。
- 高柳出張所、清川出張所、長須賀分署は建物の老朽化や狭隘化など多数の諸問題を抱えていることから、共用部分の面積を縮減した上で統合します。
- 消防団詰所は、計画的に建替え等を行っていくと共に、消防機能の充実を図ることを目的に将来的には統合を検討します。

図表2-7 再配置実行プラン

施設 No.	施設名	施設面積 (㎡)	短期(2017～2026)		中期(2027～2036)		長期(2037～2046)	
			基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)
4	消防本部・消防署	1,359.7	■建替え	2,990.3				
5	高柳出張所	204.7	■廃止、機能は5・6・9統合に合わせ移転	▲ 204.7				
6	長須賀分署	187.9	■廃止、機能は5・6・9統合に合わせ移転	▲ 187.9				
7	波岡分署	234.2	■大規模改修				■建替え(650㎡)	415.8
8	富来田分署	708.5	■建替え(700㎡)	▲ 8.5				
9	清川出張所	339.0	■5・6・9統合、建替え(750㎡)	411.0				
10	金田分署	512.6	■大規模改修					
123	第1分団第1部	84.5			■改修			
124	第1分団第2部	68.1			■改修			
125	第2分団第1部	68.1			■改修			
126	第2分団第2部	68.1					■改修	
127	第2分団第3部	66.2			■改修			
128	第2分団第4部	62.9	■改修					
129	第2分団第5部	66.2			■改修			
130	第3分団第2部	68.1			■改修			
131	第3分団第3部	68.1			■改修			
132	第3分団第4部	66.2	■改修					

施設 No.	施設名	施設面積 (㎡)	短期(2017～2026)		中期(2027～2036)		長期(2037～2046)	
			基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)
133	第4分団第1部	68.1			■改修			
134-1	第4分団第2部	34.7	■改修		■建替え			
135-1	第4分団第3部	30.2	■改修					
136	第4分団第4部	68.1					■改修	
137	第4分団第5部	44.7	■改修					
138	第4分団第6部	44.7	■改修					
139	第5分団第1部	49.6	■改修				■建替え	
140	第5分団第2部	41.3	■改修				■建替え	
141	第5分団第3部	44.9	■改修				■建替え	
142	第6分団第1部	51.8	■改修				■建替え	
143	第6分団第2部	47.9	■改修					
144	第6分団第3部	47.9	■改修				■建替え	
145-1	第6分団第4部	36.4	■改修					
146	第6分団第5部	59.6	■改修					
147-1	第6分団第6部	30.6	■改修		■建替え			
148	第6分団第7部	48.8	■改修		■建替え			
149	第7分団第1部	68.1			■改修			
150	第7分団第2部	65.7			■改修			
151	第7分団第3部	66.1	■改修					
152	第7分団第4部	68.1			■改修			
153	第8分団第1部	68.1					■改修	
154	第8分団第3部	56.2	■改修					
155	第8分団第4部	46.3	■改修				■建替え	
156	第8分団第5部	41.3	■改修				■建替え	
157	第8分団第6部	68.1			■改修			
158	第8分団第7部	39.7	■改修		■建替え			
計		5,570.3	短期(10年)	3,000.2	中期(20年)	0.0	長期(30年)	415.8

1-3. その他行政系施設

(1) 施設概要

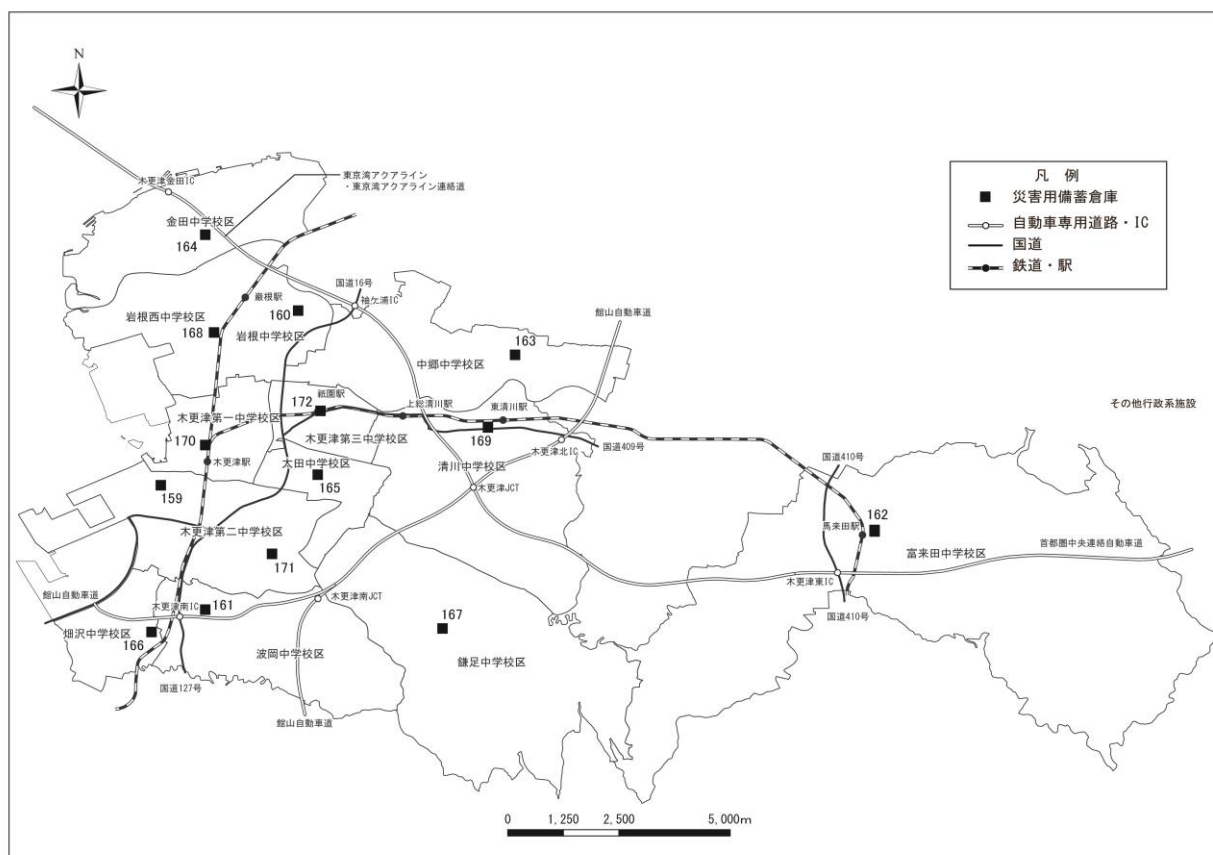
- 本市では、災害発生時に迅速な物資の提供等を行うことができるよう、学校などの避難所など、市内14か所に「災害用備蓄倉庫」を設置しています。災害用備蓄倉庫には、食料等の救助物資や避難場所です利用する物資・資機材を保管しています。

図表 2-8 備蓄倉庫の一覧

施設 No.	施設名	所在	避難場所 指定	延床面積（㎡）		竣工 年度	築年数 （年）	構造	耐震改修	備考
					施設分					
159	旧本庁舎災害 用備蓄倉庫	潮見1-1	指定なし	494.3	—	1980	36	RC造	不要	
160	岩根中学校災 害用備蓄倉庫	高柳3-7-49	避難所	33.1	—	1981	35	RC造	不要	
161	消防署波岡分 署災害用備蓄 倉庫	下烏田813-1	指定なし	33.1	—	1982	34	RC造	不要	
162	富来田公民館 災害用備蓄倉 庫	真里谷110	避難所	32.5	—	2001	15	RC造	不要	
163	中郷中学校災 害用備蓄倉庫	有吉932	避難所	32.5	—	1984	32	RC造	不要	
164	金田中学校災 害用備蓄倉庫	中島2820	避難所	32.5	—	1985	31	RC造	不要	
165	太田中学校災 害用備蓄倉庫	東太田1-2-1	避難所	32.5	—	1986	30	RC造	不要	
166	畑沢中学校災 害用備蓄倉庫	畑沢1053-1	避難所	32.5	—	1987	29	RC造	不要	
167	鎌足中学校災 害用備蓄倉庫	矢那2797	避難所	32.5	—	1988	28	RC造	不要	
168	岩根小学校災 害用備蓄倉庫	西岩根8-1	避難所	32.5	—	1989	27	RC造	不要	
169	東清小学校災 害用備蓄倉庫	菅生114	避難所	32.5	—	1990	26	RC造	不要	
170	第一中学校災 害用備蓄倉庫	中央1-10-1	避難所	46.7	—	1999	17	RC造	不要	
171	真舟小学校災 害用備蓄倉庫	真舟2-6	避難所	57.6	—	2013	3	S造	不要	
172	西清川公民館 災害用備蓄倉 庫	永井作2-11-12	避難所	32.4	—	2015	1	S造	不要	

※表中の「施設分」は、本項の用途分類で使用する専有面積分のみを掲載しています。

図表 2-9 施設の配置状況



(2) 現状及び課題

- 災害用備蓄倉庫は、築後30年以上を経過する建物が約4割を占めています。人が滞留する施設ではないものの、災害時に必要となる物資、機材等を保管する重要な役割を担う施設であることから、災害発生時応急対応に向けて役割を果たすことができるよう、建物の機能維持に努める必要があります。
- いずれの施設も、現在は単独の建物を使用しているものの、災害時の食料等の保管スペース等を考慮すると、現状では、保管スペースとしては、不足している状況となっています。

(3) 今後の方向性

- 各施設の今後の方向性及び再配置に向けた実行プランを、**図表2-10**のとおり設定します。
- 災害時等に市民の暮らしを支える重要な施設であることから、将来の人口見込みを踏まえた適正規模の保持に努めます。
- 災害時の食料等の保管スペースとして、小中学校等の余裕スペースを積極的に活用します。
- 災害時にもきちんと機能できるよう今後、適切に維持管理を行っていきます。
- 学校などの災害用備蓄倉庫が設置されている施設の再配置に伴い、災害用備蓄倉庫の再配置についても検討します。

図表2-10 再配置実行プラン

施設 No.	施設名	施設面積 (㎡)	短期(2017～2026)		中期(2027～2036)		長期(2037～2046)	
			基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)	基本方針	面積増減 (㎡)
159	旧本庁舎災害用備蓄倉庫	494.3	■改修				■建替え	
160	岩根中学校災害用備蓄倉庫	33.1	■改修				■建替え	
161	消防署波岡分署災害用備蓄倉庫	33.1	■改修				■建替え	
162	富来田公民館災害用備蓄倉庫	32.5			■改修			
163	中郷中学校災害用備蓄倉庫	32.5	■改修				■建替え	
164	金田中学校災害用備蓄倉庫	32.5	■改修				■建替え	
165	太田中学校災害用備蓄倉庫	32.5	■改修				■建替え	
166	畑沢中学校災害用備蓄倉庫	32.5	■改修					
167	鎌足中学校災害用備蓄倉庫	32.5	■改修					
168	岩根小学校災害用備蓄倉庫	32.5	■改修					
169	東清小学校災害用備蓄倉庫	32.5	■改修					
170	第一中学校災害用備蓄倉庫	46.7			■改修			
171	真舟小学校災害用備蓄倉庫	57.6					■改修	
172	西清川公民館災害用備蓄倉庫	32.4					■改修	
計		957.5	短期(10年)	0.0	中期(20年)	0.0	長期(30年)	0.0